

関係者ヒアリングの進め方及びヒアリング事項

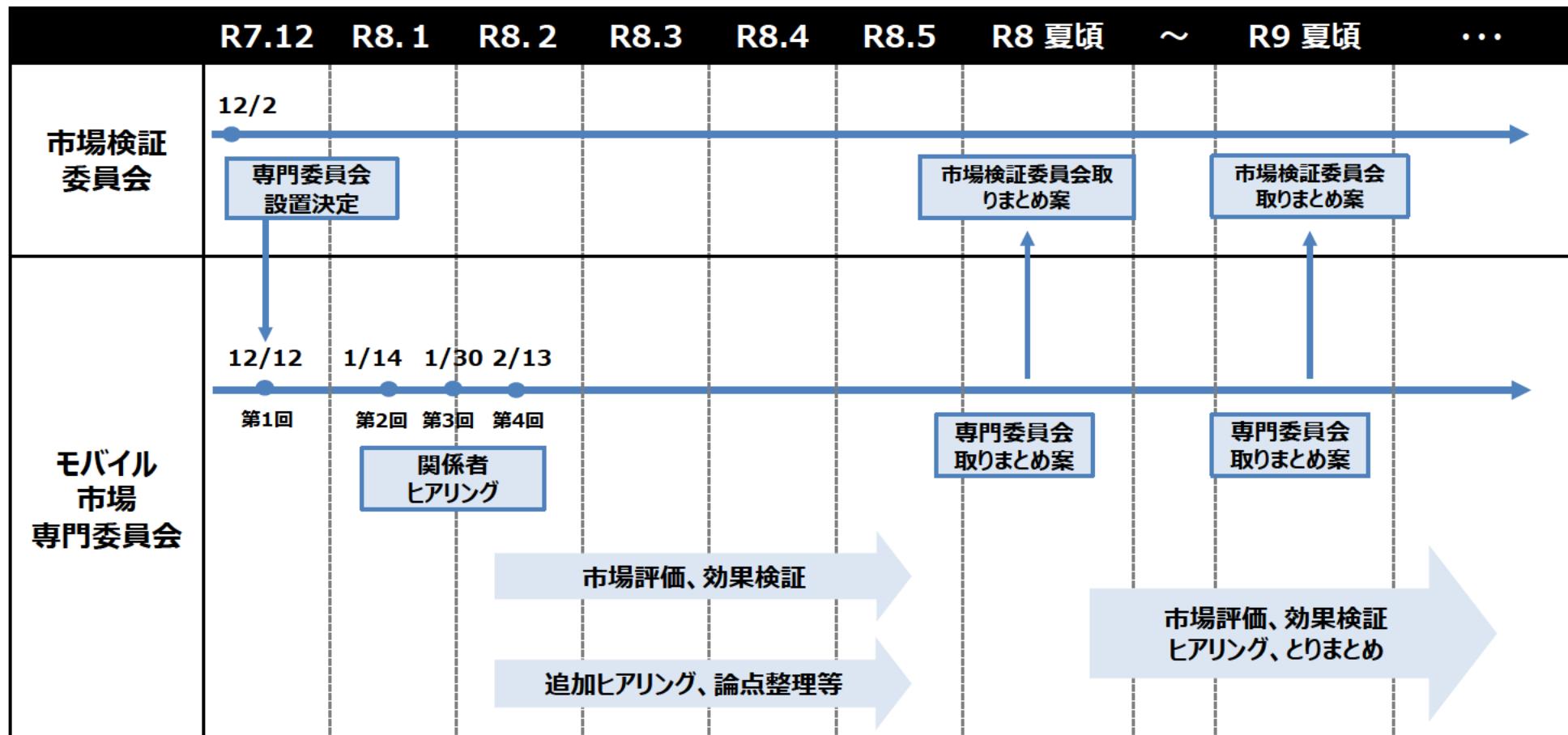
令和 8 年 2 月 13 日
事務局

専門委員会におけるヒアリングの進め方

ヒアリング対象

MNO、MVNO、販売代理店、端末関係者 等

想定スケジュール



1. 指標（データ）に基づく規制のあり方の検討

（1）電気通信事業法第27条の3の導入時に目指した目的①～④は達成できていると言えるか。

（現在の市場環境や27条の3の規制の効果をどのように捉えているか。）

目的① 事業者間の適正な競争環境の実現

目的② 利用者が自らのニーズに沿った通信サービスを合理的に選択

目的③ 利用者間の不公平

目的④ 通信料金の高止まりの解消

（2）市場環境や27条の3の規制の効果を検証するにあたり、どのようなデータを定点的に観測すべきか。

現在参照しているデータに加えて、他に把握すべきデータはあるか。

（3）27条の3の規制の最小化を図ることは可能と考えるか。

上記の目的①～④を達成するため、27条の3の規制に代わる対応策が考えられるか。

（4）（MNO 4社に対して）

① 自社のモバイルサービスの通信品質をどのような指標で評価しているか。また、これを踏まえてネットワーク投資の水準をどのように評価しているか。

② 顧客獲得や顧客維持のモチベーションとして、通信料金収入の確保の他に何があるか（例えば、顧客データの取得・活用、他サービスとの連携、自社経済圏の強化等）。

2. 現在、通信市場や端末市場において顕在化している課題はあるか

（1）短期解約問題については、

① 短期解約の課題は何か。

② 当事者が自主的な対策を講じることはできないのか。

（2）その他、顕在化している課題はあるか。

第4回専門委員会におけるヒアリングの進め方

事業者名		発表者（敬称略）（役職）	説明	質疑
1	JCOM（株）	大橋 一博 常務執行役員 経営企画部門長	10分	
2	（一社）リユースモバイル・ジャパン	有馬 知英 理事長 粟津 浜一 理事 公共政策委員長	10分	
3	グーグル合同会社	菅野 圭吾 Android&Play事業本部 マネジングディレクター	15分	
4	サムスン電子ジャパン（株）	大橋 秀俊 常務 MX事業本部 副本部長	10分	

※Apple Japan, Inc.は書面提出（構成員限り）のみ。